SUPER HOSOKAWA

株式会社スーパー細川

Fresh Foods スーパー細川

日常の買い物を健康増進につなげるDX

中津市を中心にスーパーマーケットを4店舗展開するスーパー細川。
レシートデータと健康アプリをデータ連携させ、AI解析でその人に適した「健康に資する食事・運動」を推奨し、お客様の健康的な生活習慣を支援する。日常の買い物を健康増進につなげるDXに取り組む。
国主催のデジタル田園都市国家構想「冬のDigi田甲子園」で審査員から高い評価を得たこの取り組みで、「食」を通じてお客様一人ひとりの健康的な生活を支え、地域全体を元気にしていく。

株式会社スーパー細川
代表取締役
細川　唯 氏

業種	小売業（総合スーパー）
カテゴリー	顧客体験変革
ソリューション	データ連携、AI
コンサルティングパートナー	東芝データ株式会社
ソリューションパートナー	株式会社リンクアンドコミュニケーション

ビジョン　「食」を通じて、地域を元気にする

- 日本で一番美味しい食材を販売するスーパーにしたいとの思いで、全国の産地へ直接出向いて商品を選定
- 「食」を通じて、地域住民の健康増進をさらに支えるため、DXで「健康を提供するスーパー」へ進化する

ハードル　品質や健康より低価格を優先する購買行動

- 長引く地域経済の低迷などから、お客様の「安さ」を求める傾向が目立つように
- 価格ばかりに注目し、食材や食生活そのものに目を向けられていない状況の中で、栄養の偏りから健康を損ねたり、安さゆえの必要以上の購入による食材廃棄などの問題が生じている

ソリューション　AI提案型健康増進アプリとのデータ連携

- 電子レシートサービス「スマートレシート®」 と、購買データや健康データをAIが分析し、おすすめレシピの提案や運動のアドバイスをする健康アプリ「カロママ プラス」の機能を連携
- お客様一人ひとりに合わせて、栄養バランスを配慮したレシピや運動メニューをAIが自動で提案することで、健康意識の向上や日々の生活習慣の改善などの行動変容を促す

今後の展望

- サービス利用者を増やし、地域住民の健康寿命の延伸を目指す
- 他のスーパーへサービスを横展開

成果

- 売上昨年比 約20％増（実証参加者）
- デジタル田園都市国家構想「冬のDigi田甲子園」審査委員評価 9位

サービスの流れ